



令和7年3月18日

担当課	環境政策課
担当者	池端、勝本
電話	073-435-1114
内線	2618

## 地下水の有機フッ素化合物調査結果について

有機フッ素化合物である PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）及び PFOA（ペルフルオロオクタン酸）は、泡消火剤や電子基板製造等、多用途で使用されてきましたが、人や動物への毒性や蓄積性が明らかになり、環境中での検出事例が注目され始めている化学物質です。

令和2年5月に要監視項目へと位置づけられ、PFOS 及び PFOA の合計として1リットル当たり50ナノグラム（50ng/L）の暫定指針値が設定されています。

本市では、市内一円の地下水の概況調査として有機フッ素化合物濃度を測定しており、令和7年2月に18地点で調査した結果が判明し、1地点で要監視項目暫定指針値を超過することがわかりました。また、令和6年12月に暫定指針値超過が判明した加納周辺の地下水で追加調査を行い、この結果も判明しました。

### ■ 概況調査結果

PFOS 及び PFOA (ng/L)

採水場所	加太	本脇	西庄	古屋	栄谷	中筋日延
濃度	15	12	28	46	9.5	26
採水場所	北野	布施屋	東田中	木枕	中之島	北田辺丁
濃度	7.6	9.1	8.2	2.5	7.1	36
採水場所	黒田	出水	岩橋	堀止西	吉原	薬勝寺
濃度	<b>80</b>	19	1.7	30	0.3 未満	0.8

### ■ 超過地点周辺調査結果(加納及びその周辺)

今回調査した8地点すべてにおいて暫定指針値超過はありませんでした。この調査結果から、別紙の図に示す範囲で暫定指針値超過が推定されます。

	採水日	調査地点	超過地点	地下水濃度範囲	河川水濃度	
前回調査	1月25、26日	4地点	2地点	17~120ng/L	大門川	12ng/L
今回調査	2月27日、 3月3日	8地点	0地点	8.8~50ng/L	-	-

### ■ 地下水(井戸水)利用の際の留意点

これら調査結果にかかわらず、飲用には水道水を使用し、井戸水利用時には1年に1回以上の詳しい水質検査を実施するようお勧めします。なお、洗たくや入浴など、飲用以外の利用については問題ありません。

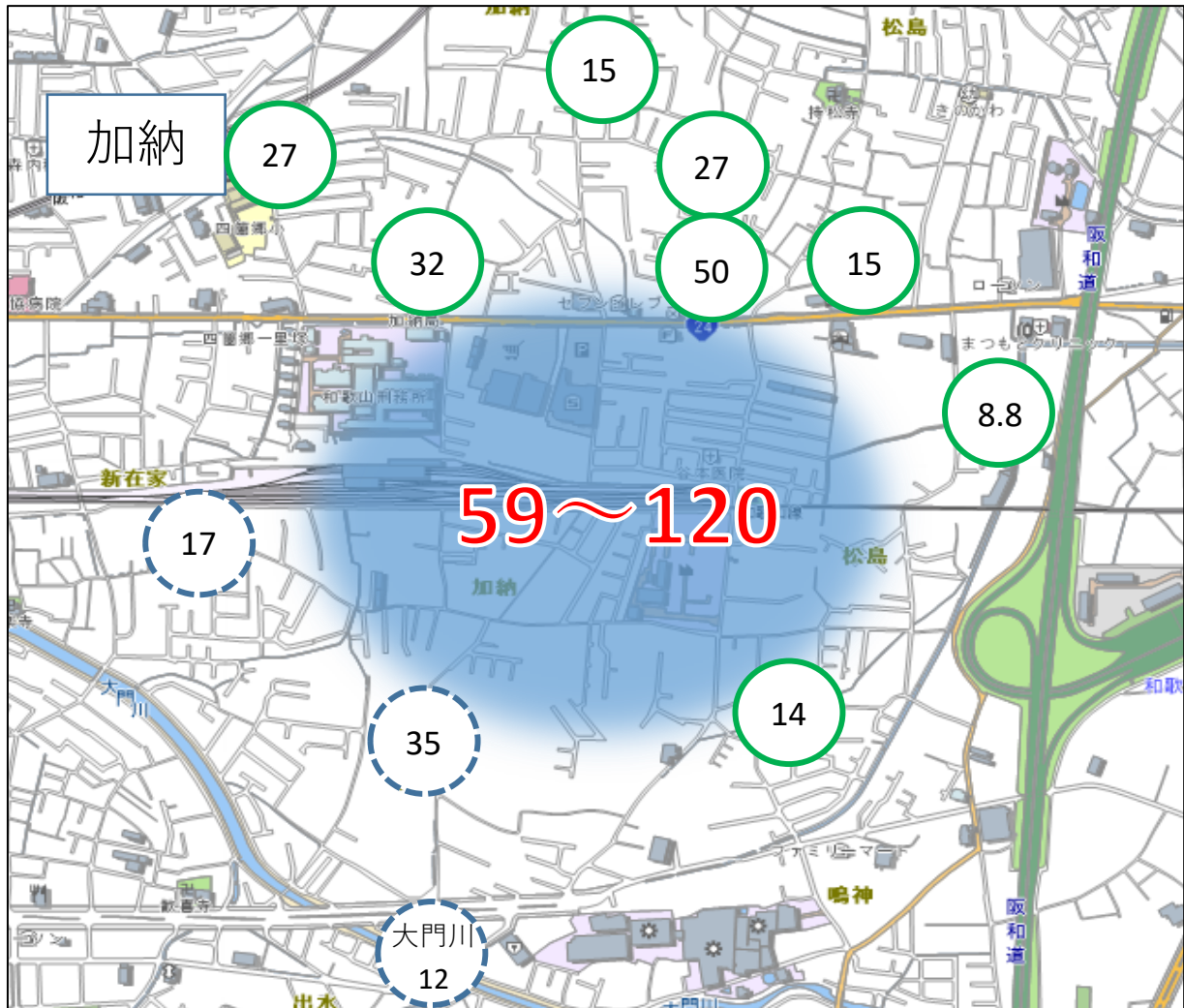
### ■ 今後の対応

暫定指針値超過地点の周辺で、地下水の水質調査を実施し、超過範囲の推定を行います。今後の調査結果については、随時ウェブサイト等で公表します。

≫ その他、PFOS 及び PFOA に関する情報は、環境省の HP をご参照ください。

環境省リーフレット URL : <https://www.env.go.jp/content/000241758.pdf>

## PFAS水質調査結果



- 凡例
- 暫定指針値超過範囲
  - 暫定指針値以下の地点（前回調査）
  - 暫定指針値以下の地点（今回調査）

※丸の中の数字は濃度(ng/L)を表します。